

ギャップ 「うちの農場にGAPは無理」 そう思っていないませんか?

安全と品質の太鼓判!

GAP

Good Agricultural Practice

ふくしまGAPチャレンジ

皆さんが農薬散布の時に
行う取組を並べてみました。
いくつ当てはまるか確認して
みてください。



シーン	取組内容	
普段から	病害虫が発生しにくい環境づくりに取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>
	農薬とそれ以外の防除法（天敵、フェロモン、機械除草等）を組み合わせている。	<input type="checkbox"/>
	普及所、JAの資料などから病害虫の発生状況を確認している。	<input type="checkbox"/>
	農薬は決められた場所に保管している。	<input type="checkbox"/>
	特に、毒劇物は鍵のかかる保管庫に保管し、わかるように表示している。	<input type="checkbox"/>
農薬使用前	登録がある農薬かどうかを確認している。	<input type="checkbox"/>
	農薬のラベルの内容（作物、対象病害虫、収穫前日数など）を確認している。	<input type="checkbox"/>
	ほ場周辺の生産者や住民等に農薬散布を行うことを連絡している。	<input type="checkbox"/>
薬液調整時	防除器具の点検し、前回洗浄されていることを確認している。	<input type="checkbox"/>
	散布後に薬液が大量に残らないよう、必要な量だけ調整している。	<input type="checkbox"/>
農薬散布時	防除衣やマスクを使用している。	<input type="checkbox"/>
農薬散布後	防除器具を十分に洗浄している。	<input type="checkbox"/>
	散布したことを記録し、農薬の在庫管理を行っている。	<input type="checkbox"/>
農産物出荷時	農薬散布記録を確認し、誤使用などが無いことを確認している。	<input type="checkbox"/>

ほとんどの取組に☑が付いたのではないのでしょうか？
これはGAPの点検項目をもとに作成したものです。
それでは、普段の取組とGAP何が違うの!?



GAP “認証” って何？

Q1 GAP認証とは？

GAPをしっかりと実践していることを専門の審査機関に確認してもらい、認証を受けることです。

Q2 認証の種類はあるの？

国内で一般的な「GLOBAL G.A.P.」^{グローバルギャップ}「ASIAGAP」^{アジアギャップ}「JGAP」^{ジェイギャップ}の3つに加え、県が認証する「**ふくしま県GAP (FGAP)**」^{エフギャップ}があります。



Q3 認証を取得しなければならないの？

県産農産物に対する信頼を高めるため、県とJAグループ福島は、農場の取組を消費者等に客観的に証明できるGAP認証の取得を推進しています。

Q4 認証ってお金がかかるの？

はい。審査費用などの経費が必要です。一方、GAP農産物が高く売れるとも限りません。安全な農産物の提供は生産者の責務で、消費者に負担を求めるわけにはいきません。



でも、既にGAPに取り組んでいる農場からは以下の声が聞かれます。

- 農場、農産物の信頼が高まった → 新しい販路が見つかった
- 農薬、肥料等の無駄な在庫が減った → コストが下がり、利益が出た
- ケガや事故の発生が減った → 大切な人の命が守られた

持続可能な
農業経営の
確立！

だから福島県はGAP認証取得を支援します！

1 充実したサポート体制
GAPの実践、認証取得を
普及指導員が全力サポート！



2 FGAP制度
審査無料で取り組みやすい！
県がしっかり確認します！



3 認証取得・継続費用への補助
研修費用、審査費用への補助が
受けられます。



4 情報の発信、マッチング支援
消費者、流通業者等への情報発信、
取引拡大をお手伝いします！



GAPって
なんだろう？

福島県 農林水産部 環境保全農業課
電話 024-521-7342 [ふくしま県GAP 検索](#)

